

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)9222
担当部課名	保健福祉部	地域福祉	課	福祉推進 班
事務事業名	人権啓発費		事業コード	18210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第8章	国際平和と人権が尊重される社会を実現します	事業開始年度
基本施策名	第2節	人権尊重のまちづくり	~63 年度
施策名	第1施策	総合的な人権施策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
人権・同和問題についての正しい理解と認識を深めてもらうため、市民、職員等に対し、啓発を行う。		市民、職員	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> さがみはら人権施策推進指針の策定 市職員の研修等 <ul style="list-style-type: none"> 職員研修(4回実施) 各種研修会等への参加 市民に対する啓発 <ul style="list-style-type: none"> 人権啓発イベントの実施(市単独実施1回、国との共催実施1回) 参加者、延べ約40,000人 啓発用リフレットの作成・配布(2000部) 人権関係啓発事業補助金の交付(対象:2団体) 		人権意識の普及、啓発	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
計画年次	年度~ 年度		

4 評価指標

指標名	啓発活動への参加数		
指標式	当該年度における研修・講演会等への参加数		
指標設定の意図	市民、職員の啓発活動への参加人数により啓発活動指標とする。		

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	900	900	a 1,650	b 1,800	1,800	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	5,811	5,446	8,237	9,853	6,999
	人員・時間数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費					
	合計	10,021	9,656	12,447	14,063	11,209
特定財源		1,637	426	1,200	1,200	400

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 91.7%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{1,650.0}{1,800.0} \times 100 = 91.7\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	人権啓発の達成度を表しにくいので、参加人数を指標とし、目標予定数と比べ実績数がどの程度であったかをみた。予定に比べ参加者が比較的多かったため一応の成果があったと考える。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	21世紀は「人権の世紀」と言われており、人権啓発はますます重要な事業である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	人権啓発活動は経済性・効率性で判断しにくい。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適切か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	国、県、市との役割分担の中で事業実施している。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	人権という響きから、ともすると敬遠されがちである。このため、いかに人権について正しい理解をしてもらえるか、効果的な方法を検討する必要がある。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	「人権尊重のまちづくり」に向け、職員・市民に対して人権啓発活動を行うことが非常に重要である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 人権に関する正しい理解と認識をいただくため、効果的な方法について検討する。
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明 : 効果的な方法により啓発活動を行うことにより、コスト削減が図れるものと考えられる。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	人権尊重のまちづくりのため、今後も効果的な方法により継続して事業実施する。 説明	
	今後の進め方			
	<input checked="" type="checkbox"/>			継続
	<input type="checkbox"/>			見直し
	<input type="checkbox"/>			廃止
<input type="checkbox"/>	完了			

8 二次評価における変更点

--